

重要性が高まるESG投資について

2017年7月3日、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG（環境・社会・企業統治）への取り組みに関するリリース（ESG指数の選定）を公表しました。

GPIFの公表内容について

- GPIFは、日本株の3つのESG指数を選定し、同指数に連動したパッシブ運用を開始したことを公表しました（右図表1ご参照）。
- GPIFは、環境（E、Environment）・社会（S、Social）・ガバナンス（G、Governance）の要素に配慮した投資や、ESGの考え方の普及についても、積極的に取り組んでいく方針を打ち出しています。
- 今回のリリースによると、GPIFは、日本の株式市場全体の底上げを図るため、幅広い企業に指数の採用の機会を設けています。また、ESG投資の拡大が企業のESG評価向上に取り組むインセンティブとなり、企業のESG対応強化が長期的な企業価値向上につながることに期待しています。
- 日本を代表するアセット・オーナー（年金等の機関投資家）がESGに対する姿勢を打ち出したことから、今後、国内株式運用においてESG要素を取り入れる流れが進む可能性も考えられます。

当社のESGへの取り組みについて

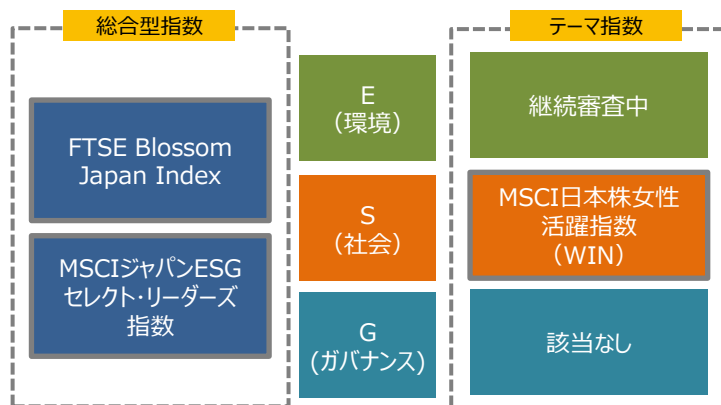
- 当社では、従前よりESG要素について調査・研究をしており、2016年3月には、責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）の考え方に賛同して署名を行いました。その後も、ESGの課題に対しより一層の理解を深め、ESGの要素を調査・運用プロセスにおいて考慮することに努めてきました。
- また、当社では女性の活躍（社会：S）に着目した運用やガバナンス（G）に着目した運用にも注力しています。ESG対応を強化する企業が投資家に注目される機会が益々増えてくる中、今後も、調査・投資判断において、ESG要素を組み込む取り組みを進めてまいります。

図表1：GPIFの選定指数

種別	指数名
総合型	FTSE Blossom Japan Index
総合型	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
テーマ型・社会（S）	MSCI日本株女性活躍指数（愛称はWIN）

※環境（E）のテーマ型指数については、継続審査中です。

図表2：採用ESG指数一覧



図表3：各指数の概要

総合型①：FTSE Blossom Japan Index ・ESG指数としては世界でも有数の歴史を持つFTSEの指数シリーズ ・FTSE4Good Japan Indexの業種ウエイトを中立化したESG総合型指数。 ・151銘柄（2017年6月時点）
総合型②：MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 ・世界で1,000社以上が利用するMSCIのESGリサーチに基づいて構築し、様々なESGリスクを包括的に市場ポートフォリオに反映したESG総合型指数。 ・251銘柄（2017年6月時点）
テーマ型：MSCI日本株女性活躍指数（愛称はWIN） ・女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別して指数を構築。当該分野で網羅的に構築した初の指数。 ・212銘柄（2017年6月時点） - 参考：WIN(MSCI日本株女性活躍指数の愛称、Women's indexの略)

出所：年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）ホームページ
<http://www.gpif.go.jp/>

明治安田アセットマネジメント

ホームページアドレス <http://www.myam.co.jp/>



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。